



三菱病院看護科



みて！みて！看護

第33号

発行日 2015年9月 編集 看護サービス委員会

最近、朝夕過ごしやすくなりましたが、みなさまいかがお過ごしでしょうか？
今回は褥瘡パトロールについてご紹介させていただきます！！

<パトロールの目的>

- ・褥瘡パトロールでは褥瘡が発生している患者さまの評価や処置について病棟スタッフと情報を共有し、今後の方針などを話し合う
- ・褥瘡発生のリスクが高い患者さまに対して褥瘡発生予防についてアドバイスを行う



当院では毎週金曜日に褥瘡パトロールを実施しています。
メンバー構成は医師1名、看護師6名、管理栄養士1名の計8名です。
実際のパトロール現場を見せていただきました。



褥瘡って？

「床ずれ」のことを褥瘡(じょくそう)といいます。
体重で長い時間圧迫された皮膚の細胞に十分な酸素や栄養が行き渡らなくなり、これにより「褥瘡」ができます。また皮膚の表面だけでなく、皮膚の中にある骨に近い組織が傷ついている場合もあります。悪化すると壊死や感染を起こす危険性があります。

実際のパトロールの様子

クッションをここにも入れた方がいいですね。



パトロールではまず褥瘡委員が「体位」や「使用しているマットやクッション」に問題はないか検討します。
また栄養状態に問題があれば検査データを見ながら考えます。

傷の治りはいいですが、保護テープの種類を変えましょうか。



先週のデータと比較するとよくなっていますね。



褥瘡のつけかえも行います。
保護テープは様々な種類の中から状態に合ったものを選択します。

なぜ褥瘡ができてしまったのかスタッフみんなで考えます。
できてしまった褥瘡がよい状態になるよう、経験豊富な褥瘡委員を中心に病棟看護師、医師とで検討しています。



※保護テープの一部です